

インフラメンテナンス
国民会議



もっと、ずっと、豊川。

～もっと 元気なとよかわを 目指して～

豊川市の取組内容について

令和5年12月1日（金）

豊川市（中部ブロック企画委員）

豊川市について

豊川市の概要

- ◆位置◆ 愛知県南東部
- ◆人口◆ 184,245人（R5.10.1現在）
- ◆面積◆ 161.14km²

農業・商業・工業が
バランスよく発展！



出荷量
全国 第1位の
とよかわバラ



日本三大稲荷
のひとつ
「豊川稲荷」



豊川市宣伝
@いなりん

TOYOKAWA

豊川市のインフラと令和5年度取り組み

1 インフラの概要

①道路	約 1,760 km
②橋梁	714 橋
③水道	約 1,300 km
④下水道（污水管）	約 940 km
⑤下水道（雨水管）	約 180 km

2 令和5年度取り組みについて

- ◎路面下空洞調査 28.5 km
- ◎橋梁点検 180 橋
（橋梁 173 橋 横断歩道橋 7 橋）
- ◎橋梁補修工事 4 橋
土々川橋（Ⅱ）、才原橋（Ⅱ）
向山橋（Ⅲ）、上野川橋（Ⅲ）
（ ）健全度判定
予防保全 2 橋、事後保全 2 橋、
- ◎橋梁補修設計業務 4 橋



路面下空洞調査

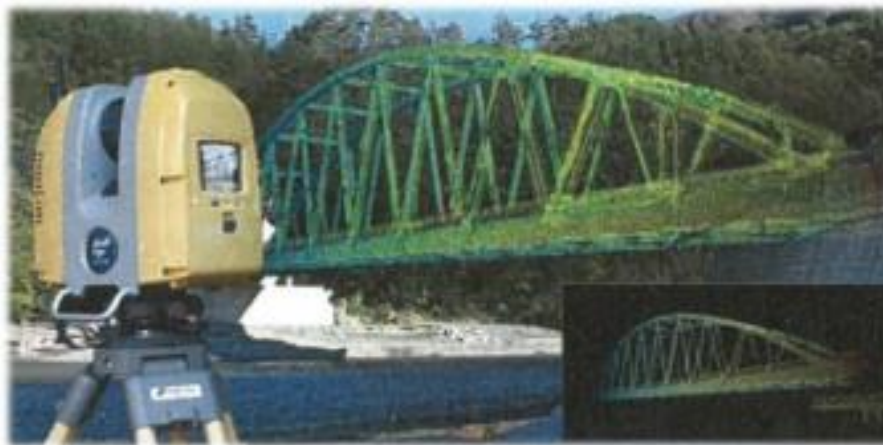


橋梁近接目視点検

インフラメンテナンスの新たな取組①

新技術活用等事例①

- ◎橋梁点検において3Dスキャニングシステム（レーザースキャナー）により3D点群データを取得し、データ上で**3Dモデル**を作成しました。
- ◎このデータを活用して、**橋梁点検の健全度判定協議において詳細な現場状況を可視化**することができました。
- ◎3Dモデルを加工すれば、損傷図・損傷写真・補修設計に必要な橋梁一般図等図面も作成でき、将来にわたり**維持管理に有効な資料**になります。



3Dスキャニングシステム



3D鳥観図

インフラメンテナンスの新たな取組②

新技術活用等事例②

- ◎市職員がパトロールする車両にAIカメラ等の専用機器を取り付け、道路の陥没等のパトロールの充実、迅速な現場対応を可能とします。（**AIパトロール**）
- ◎AIパトロールで検知した異常箇所（舗装穴）については、Web地図上、庁内パソコン、スマートフォンで確認でき、情報共有もすることができます。
- ◎舗装の痛みの増加による修繕箇所の増加により、**維持管理業務の効率化**、**維持管理の高度化**が見込まれる新技術について有効なものを積極的に活用していきます。



道路の陥没（舗装穴）の検知



パトロール車両



AIカメラ

今後の豊川市のインフラメンテナンス

新技術のさらなる活用

- ◎ 1、2級市道等幹線道路以外の生活道路の路面の劣化状況の把握のため、AIパトロールで検知した舗装穴、路面荒れの情報を集積し、路面の劣化度の見える化、劣化度管理（荒れマップ）ができるようにします。
- ◎ 荒れマップにより、市内全域の生活道路の路面状況が一目で確認でき、舗装打換えの必要度が相対的に分かるようにし、舗装の維持管理業務に役立てます。



荒れマップ一例
Web画面表示機能

ご清聴ありがとうございました。

